

環境活動レポート

2010年4月1日～2011年3月31日

2011/4/30

飯山精器株式会社

1、事業活動の概要

事業所名及び代表者名

飯山精器株式会社

代表取締役社長 寺坂 唯史

所在地

長野県中野市大字草間字坂下1162-15

環境管理責任者及び連絡先

管理部総務課課長代理 関澤 泉

TEL 0269-26-7851

FAX 0269-26-7942

e-mail sekizawa@iiyamaseiki.co.jp

事業内容

精密機械切削加工

主な加工品目

油圧機器部品、情報通信関連部品、OA機器シャフト類他

事業規模

活動規模	単位	2010	2009年	2008年	2007年
資本金	百万円	12	12	12	12
売上高	百万円	464	331	390	479
従業員数	人	57	57	54	54
床面積	m ²	2,731	2,731	2,731	2,731

保有設備一覧

	設備名	台数
加工機械	主軸移動型NC旋盤	29台
	主軸固定型NC旋盤	19台
	マシニングセンター	1台
	ドリリングマシン	2台
	ワイヤーカット	1台
	カム式自動盤	8台
	汎用旋盤	4台
	タレット旋盤	1台
	転造盤	4台
	タップ盤	2台
	卓上旋盤	10台
		センターレス研磨機(NC付)
測定機	ミットヨ画像測定器	1台
	ミットヨ真円度計	1台
	ニコン、トプコン工具顕微鏡	3台
	炭化水素系精密洗浄機	1台

2、環境方針

1 基本理念

飯山精器株式会社は、精密機械加工部品の生産を通じて「地球の環境保全」「生物多様性保全」「地域社会との調和」「資源の有効活用」の重要性を深く認識し、次世代へ豊かな自然と限りある資源を継承するために、全社員参加のもと、環境保護活動を推進します。

2 基本方針

- 1) 生産活動で関わる環境への影響を少なくするために、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進及び、環境汚染の予防等の環境保全活動に積極的に取り組みます。
- 2) 関連する環境の法規制やその他の要求事項を遵守し、環境保全に取り組みます。
- 3) 本環境方針に沿った環境目的・環境目標を具体的に定め、運用、評価、見直しを実施して、環境保全活動ならびに環境マネジメントシステムの継続的な改善に努力します。
- 4) 環境教育・周知活動を推進し、社員の環境意識の向上を図るとともに、環境方針を社外に公開します。

2011年4月1日

代表取締役社長

寺坂 唯史

3.環境方針に基づく短期及び中長期目標

環境方針(実施項目)	目標(2010年度末)	目標(2011年度末)	目標(2012年度末)	目標(2013年度末)
1、省エネルギーの推進(二酸化炭素排出量の削減)	・2004年度に対して7%削減	2004年と比較し8%の削減	2004年と比較し9%の削減	2004年と比較し10%の削減
2、省資源の推進(水使用量の削減)	・2004年度に対して7%削減	2004年と比較し8%の削減	2004年と比較し9%の削減	2004年と比較し10%の削減
3、廃棄物の低減	・2006年度に対して7%削減	・2006年度に対して8%削減	・2006年度に対して9%削減	・2006年度に対して10%削減

環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価

環境活動目標

- 1 二酸化炭素排出量の削減(2004年度対比-7%)
- 2 水使用量の削減 (2004年度対比-7%)
- 3 廃棄物の削減 (2006年度対比-7%)
- 4 切削油使用量の削減 (2005年度対比-20%)

環境目標	実施内容	月	実績(Kg-CO2)	目標値(Kg-CO2)	評価
二酸化炭素 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> ・改善活動 ・エアコン温度設定管理 ・室温管理 ・エア一漏れ確認修理 	4月	19,930	25,045	○
		5月	20,344	21,702	○
		6月	22,534	23,947	○
		7月	21,536	26,185	○
		8月	31,409	33,748	○
		9月	28,890	24,607	×
		10月	21,453	23,411	○
		11月	22,504	25,863	○
		12月	28,201	26,115	×
		1月	29,931	33,732	○
		2月	34,091	38,854	○
		3月	21,627	32,490	○
		合計	302,450	335,700	○
環境目標	実施内容	月	実績(ℓ)	目標値(ℓ)	評価
水使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水標語の掲示 ・ドレン排水の利用 	4月	75	84	○
		5・6月	154	153	×
		7・8月	170	156	×
		9・10月	163	198	○
		11・12月	195	151	×
		1・2月	163	175	○
		3月	87	84	×
		合計	1,007	1,000	×
環境目標	実施内容	月	実績(m3)	目標値(m3)	評価
廃棄物の削減 廃プラ等	<ul style="list-style-type: none"> ・梱包材、緩衝材への転用 	4月	0	0	○
		5月	0	0	○
		6月	1	0	×
		7月	0	1	○
		8月	1	0	×
		9月	0	0	○
		10月	0	0	○
		11月	1	1	○
		12月	0	0	○
		1月	0	0	○
		2月	0	0	○
		3月	1	1	○
		合計	4	3	×

環境目標	実施内容	月	実績(kg)	目標値(kg)	評価
廃棄物の削減 Kgで計量される物 (金属スクラップ等)	・廃材の製品への転用	4月	5,290	9,281	○
		5月	14,181	13,727	×
		6月	7,613	9,550	○
		7月	13,197	8,240	×
		8月	7,392	9,468	○
		9月	13,286	8,111	×
		10月	9,856	11,097	○
		11月	9,797	11,180	○
		12月	12,451	14,861	○
		1月	9,320	9,399	○
		2月	8,826	10,275	○
		3月	17,190	9,427	×
		合計	128,399	124,616	×
		環境目標	実施内容	月	実績(Kg)
廃棄物の削減 単純焼却ゴミ	・分別の徹底	4月	13.1	11	×
		5月	8.6	31	○
		6月	15.5	11	×
		7月	11.8	26	○
		8月	14.6	17	○
		9月	16.4	16	×
		10月	8.6	19	○
		11月	16.3	9	×
		12月	14.8	20	○
		1月	17.0	5	×
		2月	10.2	14	○
		3月	14.3	14	×
		合計	161.2	193	○
		環境目標	実施内容	月	実績(ℓ)
廃棄物の削減 リットルで計量される物(水溶性廃油)	・水溶性切削油剤の管理	4月	0	1,376	○
		5月	0	186	○
		6月	0	1,841	○
		7月	0	0	○
		8月	0	279	○
		9月	1900	0	×
		10月	0	1,358	○
		11月	0	372	○
		12月	0	0	○
		1月	0	372	○
		2月	0	0	○
		3月	0	279	○
		合計	1,900	6,064	○

環境目標	実施内容	月	実績(ℓ)	目標値(ℓ)	評価
油性切削油 削 減	・使用済み油の回収再利用	4月	0	640	○
		5月	0	320	○
		6月	200	480	○
		7月	0	480	○
		8月	0	320	○
		9月	0	320	○
		10月	200	320	○
		11月	0	480	○
		12月	0	480	○
		1月	0	320	○
		2月	200	160	×
		3月	0	320	○
		合計	600	4,640	○

5、環境活動計画内容

	環境目的	環境目標	具体的活動内容	担当部署
1	省資源 (水資源の節約)	水使用量の削減	①水溶性切削油剤の管理徹底 ②花壇への散水に排水の利用	総務
2	省エネルギー (二酸化炭素排出削減)	電力使用量の削減	①室温管理による電力消費量削減 ②効率的な加工でムダの排除 ③配管、継ぎ手部よりのエアリーク防止	製造部 総務
3	廃棄の削減	1、廃棄物量の削減 2、切削油の削減	加工残材の有効利用 使用量の削減・再使用の推進	製造部

6、環境活動の取組み結果の評価

- ……良
 △……改善の余地あり
 ×……未達成

活動全般への評価

FKK活動・再発クレームの撲滅・業務改善・購入刃物の購入費削減・打痕キズ撲各施策と小集団改善活動で効率的な加工を目指すことでムダを無くし、省エネに貢献できている。	○
---	---

各環境目標別評価

(1) 水使用量の削減

・水溶性切削油のペーパー管理による腐敗防止で全交換する回数を減らす事で水使用量の削減を図る。	△
・冷房のドレン排水の利用。(花壇への散水)。	○
・標語掲示による節水呼び掛け及び教育。	○

(2) 電力使用量削減

・冷暖房の適正温度設定及び管理。(デマンド管理による最大需要電力量削減)	○
・無駄をなくし、効率の良い加工で稼働率を上げる。改善活動の推進。	○
・配管、継手部からのエアリークの定期的な補修。	○
・緑のカーテンによる室温上昇抑制。	△

(3) 廃棄物排出量の削減

・加工残材の分別徹底によるリサイクルの推進。加工法改善による残材の再利用	○
・効率的な遠心分離装置運用法による廃油の回収、再利用。	○
・紙類の分別徹底及び緩衝材・梱包材の再利用で廃棄物の削減を図った。	○

(4) 環境保全活動

FKK活動の各施策を推進することで、効率的な生産活動、廃棄物排出量の削減に取り組んだが、業績の回復に伴い二酸化炭素排出量は目標をクリアしたが、水使用量と廃棄物排出量が増加となってしまった。今後は更に不要・不急な物は購入しないという姿勢で、事業活動を進め環境保全に取り組んでいく。

指針、目標等々の見直し

3s活動から5s活動に移行して行く事で更にムラ・ムダを排除し付加価値の向上を全社員参加で推進して行きます。各活動により環境方針、環境目標、活動計画それぞれを継続推進していく。

7、環境関連法規違反の有無

関連法規

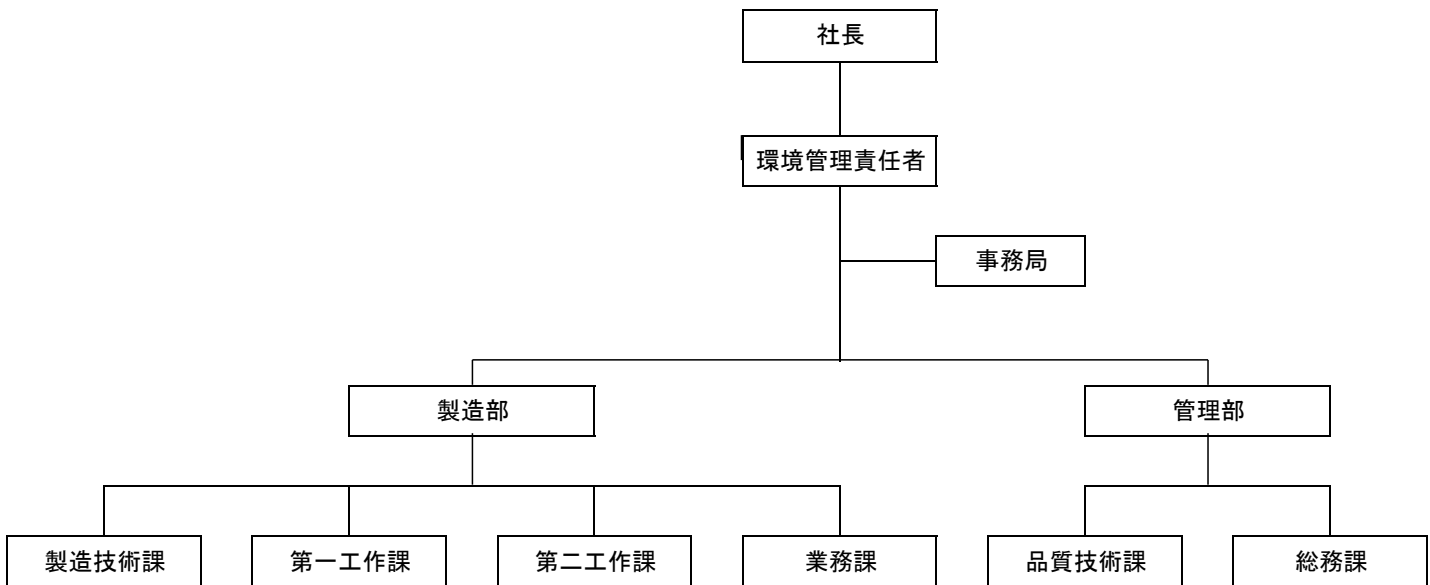
大気汚染防止法・特定物質の規制によるオゾン層保護に関する法律
地球温暖化対策の推進に関する法律・水質汚濁防止法
土壌汚染対策法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
消防法、危険物の規制に関する政令、規則・工場立地法
安全衛生法

長野県環境基本条例・中野市環境基本条例・長野県公害の防止に関する条例
中野市公害防止条例・長野県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則
中野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・中野市火災予防条例

環境関連法規につきましては弊社で自ら確認したところ、過去5年間に
おいて違反は無く、又関係行政機関及び顧客・近隣住民からの要望、
指摘事項、クレーム、及び訴訟は現在ございません。

8、環境活動組織図

飯山精器(株) 環境保全活動組織図



役割、責任及び権限一覧表

対象者	役割、責任、権限
代表取締役	最高経営責任者であり、環境経営システムの統括的な責任と権限を有する。環境経営に関する方針を定め誓約する。環境管理責任者を任命し、環境活動の統括的な指示を行い結果の報告を受ける。その結果についてシステムの取組状況について評価、見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	環境経営システムに関する構築・運用の責任と権限を有する。取組状況を代表取締役に報告し、取組みについての必要な指示を受ける。
環境管理事務局	環境管理責任者の指示により、環境経営システムの構築・運用に従事するとともに、推進事務局を担当する。
総務課責任者	環境管理責任者の指示により、環境経営システムの構築・運用に従事する。
第一工作課、 第二工作課、 製造技術課の 各責任者	環境管理責任者の指示により、環境経営システムの構築・運用に従事する。
業務責任者	環境管理責任者の指示により、環境経営システムの構築・運用に従事する。
品質技術課責任者	環境管理責任者の指示により、環境経営システムの構築・運用に従事する。
一般従業員	各部門長の指示により、環境方針、環境目標、環境行動計画の内容、手順を理解し、担当する業務についてシステムの運用に従事する。